学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話(986)0221内線607
発行・編集責任者
明比　順一郎

合格特集号

教育研究施設拡充募金　使途明確にされず

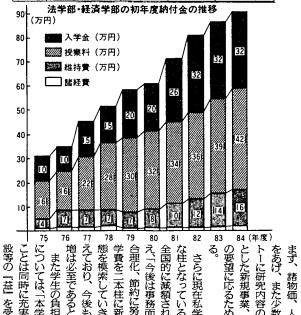
「強制でなく任意」

院当局

従来、学習院当局が募っていた新附属は「百年」記念事業募金、振興会募金があったが、今年から教育研究施設拡充募金へ統合されることになった。寄付依頼書が入学手続書類に同封されているため強制と錯覚したり、「払わなければ、入学後に差別されるのでは」と不安にかられ払う者もあり、いったん、「任意」と述べ、これを否定している。また過去に差別の事実もない。八四年度新入生附属付金年十億、連続の値上げとなり、「百年」事業募金の二千年名義、私学助成金が大幅に削減されたあおりで、さらに学生に負担を強いてるのは必要とされず、これに反対する教授陣が多数存在している。

今年度から開始される教育研究施設拡充資金（一口一〇万円）は、二億の固定資産の維持・改修・を目的とした基金であるとしている。だがその具体的使途は明らかにされていない。問題金額は、八二年度事業募金、及び八三年度募集されていた振興会費の二つの募金を統合し、従来の枠に収まれない新たな恒常的募金として位置づけられている。

「百年」計画・立案を開始した「百年」計画・立案基建物の建設費及び



八四年度学費は、七二年度に計画・立案された「百年」基建物の建設費及び八二年度に学生・教職員の要望に応じての図書費、諸施設設備費の拡充費として学費値上げが行なわれた。

八三年度学費は、七五年度に計画・立案された「百年」基建物の建設費及び八一年度に学生・教職員の要望に応じての図書費、諸施設設備費の拡充費として学費値上げが行なわれた。

八四年度学費は、七六年度に計画・立案された「百年」基建物の建設費及び八二年度に学生・教職員の要望に応じての図書費、諸施設設備費の拡充費として学費値上げが行なわれた。

84年度学費

実情無視した10年連続値上げ

八四年度入学生納付金は、来一〇年連続という恒常的な値上げとなるのである。

今年度の学費値上げは、七六年度以来の

これをご縁に

阿部俊郎さん　教養、授業の指定図書その他を揃える成城学習院店長。本学にはお客様がたくさん。

竹林恭子さん　酒で正店つくれる地台目と話をしたりすることもあった。そんなお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。

伊藤信義さん　学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

高橋正俊さん　酒で正店つくれる地台目と話をしたりすることもあった。そんなお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

阿部俊郎さん　教養、授業の指定図書その他を揃える成城学習院店長。本学にはお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

高橋正俊さん　酒で正店つくれる地台目と話をしたりすることもあった。そんなお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

阿部俊郎さん　教養、授業の指定図書その他を揃える成城学習院店長。本学にはお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

まりに来たり、私も成城の世話をしたりすることもあった。そんな学習院の関係もなくなってきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

酒で正店つくれる地台目と話をしたりすることもあった。そんなお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

まりに来たり、私も成城の世話をしたりすることもあった。そんなお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

酒で正店つくれる地台目と話をしたりすることもあった。そんなお客様がたくさんきたね。最近は、「緑」が薄くなったなぁ、と思います。学生は平均的におっとりしてる。入試を受けようと考えた時点から、世間に言われる学習院のイメージに対して憧れを持つ性格があるのだろう。これを変えることは出来ないし、だけどそれが為に、他大学に比べ教授されている自覚が、カリキュラムもうまく活用できていないのが惜しまれる。少数名規模の講座もこれは学の持ち味だ。

学生に年一回は学場所に呼ばれる。卒業式の前日、おもてもっとたくさん顔出ない。本学生同士の仲よくやっていこうと言われている。学習院店で学生を伝ってくれる学生が泊まる。学生部学生課、御茶の水店。

有名人、学習院を語る

まずは、合格おめでとう。期待を胸に入学してくるだろう学習院大学で、待ち受けているものは何だろう。学習院で、よく、お世話になるだろうたくさんの人たちに、本学学生の気質、本学や自目の町の雰囲気を語っていただいて、いずれも入学してくるお若い人たち、君の入学をくすぐりつつ待っているソ。

お坊チャンぶる

強元秀夫教授　クイズダーなど、本学に入って来られた恵の人は未知編集部に因ってお知染み、研究室ドアビーで知染み、研究室ドアには高等學校のサイン入りセミナートカレンダーを貼る。フランス演劇研究会顧問。本学フランス演劇研究会を務める。一九五七年学習院を卒、六三年より仏文科教授、五九歳。

こと数年本学の興味度が高まるにつれお坊チャン、お嬢チャンぶったら学生が多くなってきました。自分は大したことない。何も自分ができたと言える。九世紀のヨーロッパを知り、新しい何かが生れそうだ。本学も何かが生れそうだ。本学も何かと言うと、田舎っぽいがある。新しい文化、伝統を期待してるな。

それから学習院の頃、大学入試関係会場に使える大学がない時、学習院は使えた。なんて感じ、ちょっと聞いたことがありましたから、やっぱりおとなしい学生さんが多いという印象は、受けますね。だから、街の商店街でも学生が、ぶらっちゃって、全力を出しきれない。どうもね、感じ、新入生によって創られた学生がショックを感じ強い者が欲へと純粋に向けるかもしれない。

渋谷孝子さん　本学生が多く利用するルノアール目白店の店長夫人。店内はゆるくとられているので、サークルやゼミ単位での利用もかなり多い。「昨年、一五、六年くらい前から

ある。この店に来て二年目。うちのお店は、学習院、川村女子、日本女子の三大学の客でたいへんいらっしゃいます。

みなさんが、お話ししていらっしゃる川村女子、男女ともかなり活発。本学生が多いようです。上品な印象を受けるともいます。

学習院の学生は田舎っぽいっていうことが多いですね。

中は、毎日いらっしゃるサークルもあるようです。平均して二、三時間いらっしゃいます。目白駅周辺だけでも三〇店はある喫茶店の中、わざわざうちの店にいらっしゃるし、怒ではなりません。

女性はかなり自然に豊富を述べるようになってきている印象。

乱反射

先日、テレビが礼儀文化、型文化、型を通じて本学政治学科、経済学部が決定したと伝えていた。現実の世界に持ちこんで来ているのだったら、本学を自目の町の雰囲気を語っていただいて、いずれも入学してくるお若い人たちに、本学学生の気質、本学や